

取扱説明書

PRESSURE MONITORING DEVICE

PMD-26

1. まえがき

この度は弊社の『圧力監視装置 PMD-26型』をお買い上げ頂き誠に有り難う御座います。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読みよく理解してからご使用下さい。この取扱説明書をよくご理解頂かないと、本機の適正な能力を発揮出来ないばかりか、重大な事故に繋がりますので、十分ご理解の上、正しくご使用下さい。

2. 使用目的

本機は、圧縮空気配管内の圧力(以下、内圧)を測定し、設定された圧力以下になった場合に警報および警告を発する監視装置です。

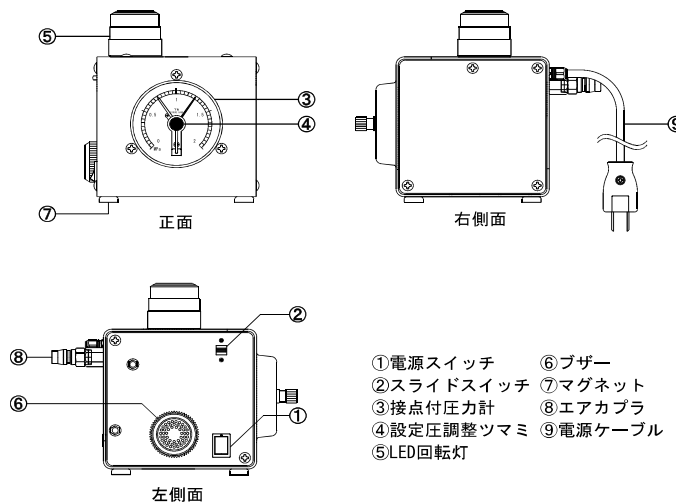
3. 注意事項

- 1) 本機を配管内圧力監視以外の目的で使用しないで下さい。
- 2) 水・油など、空気以外の圧力監視に使用しないで下さい。
- 3) 本機を無断で改造しないで下さい。
- 4) 設定変更等で分解する際は側面カバーの取付ネジの締めすぎにご注意下さい。ネジ穴を破損する恐れがあります。
- 5) 使用前に本機本体に外観上の異常(変形・破損・亀裂)はないか確認して下さい。異常と思われる箇所が発見された場合は、異常個所の修復を完全に行うまでは本機の使用を禁止し、直ちにお買い上げの販売会社に連絡して下さい。そのままご使用になると、重大な事故につながる恐れがあります。
- 6) 雨・風・直射日光を避けて下さい。
- 7) 圧力計の最大目盛り以上の圧力を加えないで下さい。圧力計が破裂し事故につながる恐れがあります。
- 8) 可燃性ガス等が発生する可能性のある場所では爆発・火災の恐れがあるため使用できません。

4. 仕様

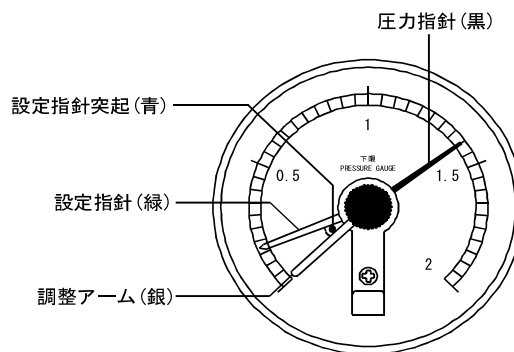
型 式	PMD-26
電 源	AC100V, 50/60Hz
圧 力 測 定	ブルドン管
圧力設定範囲	0~2MPa
本 体 寸 法	(W)150×(D)170×(H)210
本 体 重 量	約2kg

5. 各部の名称

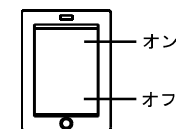


6. 使用方法

- 1) 本機を本体背面のエアカブラ(⑧)により圧力を監視したい配管に接点付圧力計(③)が垂直になるよう直接取り付けて下さい。または、マグネット(⑦)で本機を外部設置し、別途エアホースを用いて圧力導入することも可能です。マグネットは底部または右側面いずれかに取り付けることができます。
- 2) 設定圧調整ツマミ(④)に連動した調整アーム(銀)を、設定指針突起(青)に当て押す様に回し、設定指針(緑)を任意の警報開始値(例: 0.8MPa)に設定して下さい。



- 3) 電源ケーブル(⑨)のプラグを接続し、電源スイッチ(①)をオン(緑色に照光)にすると監視を開始します。



- 4) 内圧が設定圧以下になると赤色のLED回転灯(⑤)とブザー(⑥)で警報します。また、内圧が設定圧を超過(圧力復帰)してから1分(初期設定: タイマーA)後に警報が止まります。
※ タイマーA: 1分の初期設定は任意にて変更が行えます。詳しくは、次項の【7-1. 設定変更】をお読み下さい。
- 5) 5分(初期設定: タイマーB)間警報し続けるとブザーのみが停止します。これは夜間に本機の電源スイッチ(①)をオフにし忘れ放置し、圧力低下による警報ブザー(⑥)が鳴った際に、近隣への迷惑を抑制するための保護回路です。(この場合でも圧力が設定圧を超過(圧力復帰)した際には再び1分間のブザー警報を行います)
※ タイマーB: 5分の初期設定は任意にて変更が行えます。詳しくは、次項の【7-2. 設定変更】をお読み下さい。

- 6) スライドスイッチ(②)の操作により警報の種類を選択できます。スライドスイッチを上(上)に動かすとLED回転灯(⑤)のみが動作します。また、中央(中央)ではLED回転灯(⑤)とブザー(⑥)両方が動作し、下(下)ではブザー(⑥)のみが動作します。

上 LED回転灯(⑤)のみ動作

中央 LED回転灯(⑤)・ブザー(⑥)両方が動作

下 ブザー(⑥)のみ動作

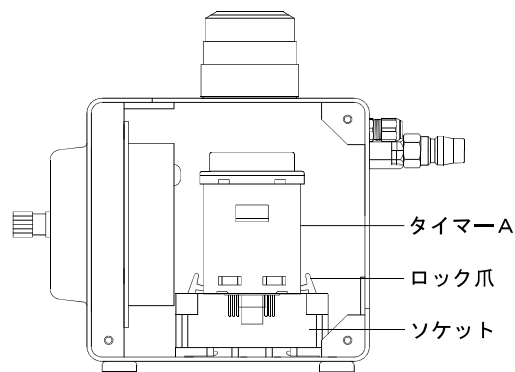
- 7) 作業終了時や圧力監視が不要の際には、必ず本機の電源をお切り下さい。

7-1. 設定変更

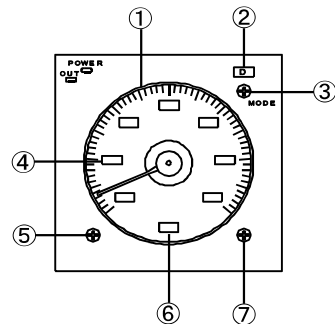
初期設定では、内圧が設定圧を超過(圧力復帰)してから警報が停止するまでの設定時間が1分に設定されています。
初期設定時間の変更を行う場合には、本体内部にある【タイマーA】を操作して設定して下さい。

⚠ 感電の恐れがあるため設定変更は電源プラグを抜いた状態で行って下さい。

- 1) 本体右側面のカバーを外す。
- 2) ソケットのロック爪を2ヶ所とも外し、タイマーAを引き抜く。
- 3) 出荷状態ではセットダイヤル①を回すことで0.1～1.2分まで設定できます。
- 4) 更に変更を行う場合には、⑤目盛数字切換スイッチ、時間単位スイッチ⑦をプラスドライバー等で回し目盛・単位を変更して設定して下さい。
※ このとき、動作モード切換スイッチ③は絶対に操作しないで下さい。
また、②動作モード表示窓に「D」が表示されているか確認して下さい。
他のモードですと正常に動作しません。



右側面内部



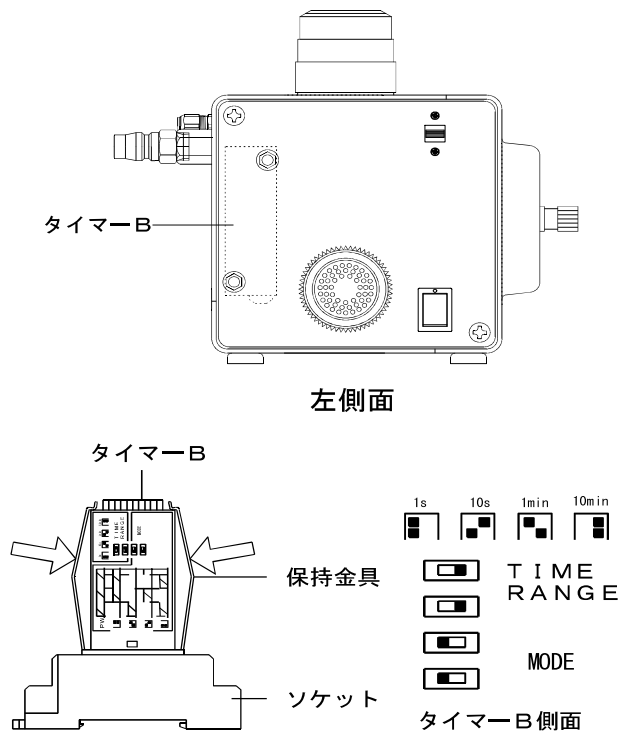
- ① セットダイヤル
- ② 動作モード表示窓
- ③ 動作モード切換スイッチ
- ④ 目盛数字表示窓
- ⑤ 目盛数字切換スイッチ
- ⑥ 時間単位表示窓
- ⑦ 時間単位切換スイッチ

時間単位 目盛数字	sec	10s	min	10m	hrs	10h
0	0秒	0秒	0分	0分	0時間	0時間
0.2	0.2秒	2秒	0.2分	2分	0.2時間	2時間
0.4	0.4秒	4秒	0.4分	4分	0.4時間	4時間
0.6	0.6秒	6秒	0.6分	6分	0.6時間	6時間
0.8	0.8秒	8秒	0.8分	8分	0.8時間	8時間
1	1秒	10秒	1分	10分	1時間	10時間
1.2	1.2秒	12秒	1.2分	12分	1.2時間	12時間
0	0秒	0秒	0分	0分	0時間	0時間
0.5	0.5秒	5秒	0.5分	5分	0.5時間	5時間
1	1秒	10秒	1分	10分	1時間	10時間
1.5	1.5秒	15秒	1.5分	15分	1.5時間	15時間
2	2秒	20秒	2分	20分	2時間	20時間
2.5	2.5秒	25秒	2.5分	25分	2.5時間	25時間
3	3秒	30秒	3分	30分	3時間	30時間
0	0秒	0秒	0分	0分	0時間	0時間
2	2秒	20秒	2分	20分	2時間	20時間
4	4秒	40秒	4分	40分	4時間	40時間
6	6秒	60秒	6分	60分	6時間	60時間
8	8秒	80秒	8分	80分	8時間	80時間
10	10秒	100秒	10分	100分	10時間	100時間
12	12秒	120秒	12分	120分	12時間	120時間
0	0秒	0秒	0分	0分	0時間	0時間
5	5秒	50秒	5分	50分	5時間	50時間
10	10秒	100秒	10分	100分	10時間	100時間
15	15秒	150秒	15分	150分	15時間	150時間
20	20秒	200秒	20分	200分	20時間	200時間
25	25秒	250秒	25分	250分	25時間	250時間
30	30秒	300秒	30分	300分	30時間	300時間

7-2. 設定変更

初期設定では、警報が鳴り続けブザーのみが停止するまでの設定時間が5分に設定されています。
初期設定時間の変更を行う場合には、本体内部にある【タイマーB】を操作して設定して下さい。

- 1) 本体左側面のカバーを外す。
- 2) 保持金具を両側から押すように外し、ソケットからタイマーBを引き抜く。
- 3) 出荷状態ではセットダイヤルを回すことで1～10分まで設定できます。
- 4) より短い時間に変更する場合には、タイマーB側面上側の2つのディップスイッチを操作しタイムレンジを変更して下さい。
※ このとき、下側の2つのディップスイッチは操作せず2つとも左側にあることを確認して下さい。
他のモードだと正常に動作しません。



時間単位 目盛数字	1s	10s	1min	10min
0	0秒	0秒	0分	0分
0.2	0.2秒	2秒	0.2分	2分
0.4	0.4秒	4秒	0.4分	4分
0.6	0.6秒	6秒	0.6分	6分
0.8	0.8秒	8秒	0.8分	8分
1.0	1秒	10秒	1分	10分



本社／ 福井県越前市家久町63-1 ☎0778-22-2124

札幌営業所 ☎011-791-8588 仙台営業所 ☎022-255-7408 秋田営業所 ☎018-800-2556
東京営業所 ☎03-5970-6011 新潟営業所 ☎025-281-8251 名古屋営業所 ☎052-354-1021
福井営業所 ☎0778-21-0335 大阪営業所 ☎072-337-5056 広島営業所 ☎082-573-5012
四国 駐在 ☎082-573-5012 福岡営業所 ☎092-582-6743 沖縄 駐在 ☎092-582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。